

えん罪・浦電事件

不当弾圧から今日で

17年!



■えん罪・浦電事件とは？

2002年11月1日、浦和電車区分会（現・さいたま運転区分会）の組合員だった7名（美世志会）が突如、組合員を脱退・退職させたとして『強要罪』という聞きなれない罪名で警視庁公安部に逮捕された「えん罪事件」です。

344日間勾留された7名に対し取り調べでは「平和活動なんて生意気」「組織を内部から変えられないから国家権力が介入するんだ」など、事件とは全く関係ないことが言われました。また60回にも及ぶ裁判では『被害届が出される前から捜査が行われていた事』や、『脱退届を出した時にいたとされる人が乗務（仕事）をしていて、その場にいることは不可能であること』、相次ぐ裁判官の交代など、多くの矛盾点や事実が明らかになり、JR東労組組織を壊すために権力が介入してきたえん罪事件です。

えん罪・浦電事件を風化させることなく、 事件の真実を語り平和な未来を守り抜こう！